

新しい文化芸術活動の拠点 市民会館の建設地とあり方 とことん考えたい！

2010年10月5日(火)
長野市県町「県労働会館」

市民版・市民会館公聴会



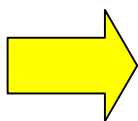
長野市議会・市民ネット

市民会館建て替えに関する市民ネットの考え

1. 長野市民会館はなくてもいいのでは？ 3
2. 建て替えか、それとも耐震改修か 4
3. 基本構想＝榑堂B－1地区再開発事業の変質 5
4. 市民の声は？ 6
5. 東街区案＝不確実な「まちづくりへの効果」、
榑堂での建設がまちの活性化の起爆剤となるのか 7～ 8
6. 現在地での建設の可能性は？ 9～11
7. 榑堂案と現在地案…事業費で比較すると 12
8. 榑堂か現在地か、二者択一の基準 13
9. 市民ネットの提案 14

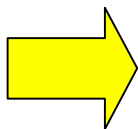
1. 長野市民会館は無くてもいいのでは？

施設名	稼働率（通年）	稼働率（土日祝）
長野市民会館ホール（1,828席）	38.0%	56.3%
ホクト文化ホール大ホール（2,173席）	68.4%	67.9%
ホクト文化ホール中ホール（1,070席）	67.7%	84.4%
ホクト文化ホール小ホール（300席）	76.1%	84.4%
若里市民文化ホール（606席）	59.0%	75.0%



現市民会館の稼働率を考えると、新市民会館は必要単なる箱もの、貸館ではなく、市民が日常的に集い、「手づくり」の文化芸術創造の新たな拠点として

H20年度市民会館の利用者数	件数	比率
800人未満	69件	58.0%
800人～1,000人	26件	21.8%
1,000人～1,500人	16件	13.4%
1,500人以上	8件	6.7%



**8割が1,000人未満の催事
1,000人規模のメインホールでもニーズに応えられる
1500人規模のメインホールは過大**

2. 建て替えか、それとも耐震改修か

■現市民会館の課題

- 建設から49年が経過し老朽化…コンクリートの劣化、冷房施設等の老朽化
- 使いにくい施設…バリアフリーではない／リハーサル室や練習室がない／客席が狭い／遮音性能や音響効果が悪い／ロビーや楽屋が狭い
- 利用者のニーズに応えられない施設

 **建て替えを支持**
…しかし、規模は見直しが必要

■耐震改修の場合の経費は44.1億円に（市の概算）

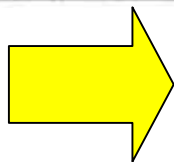
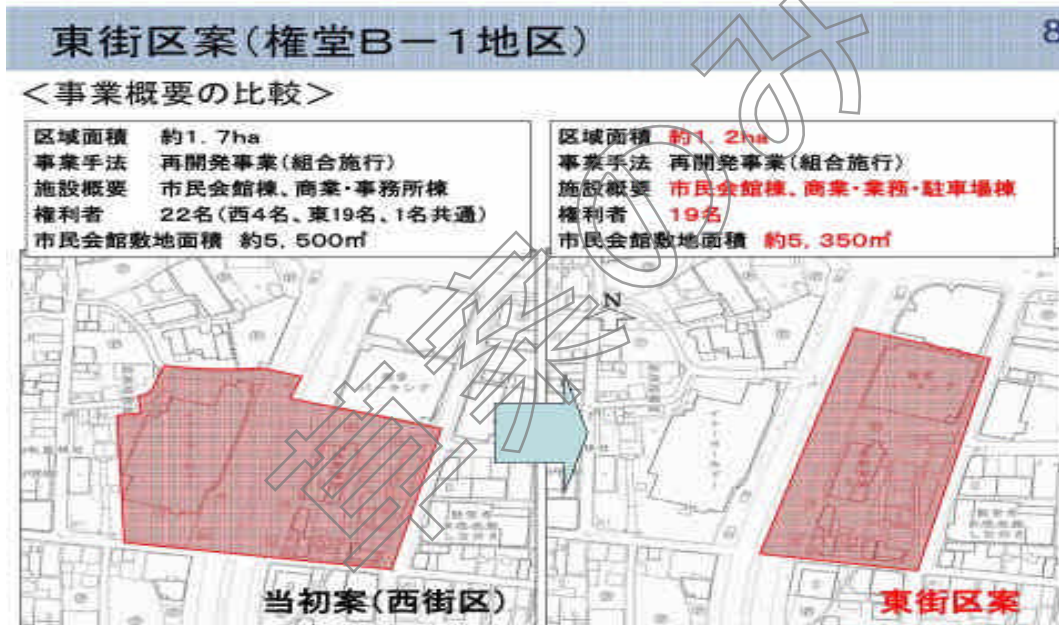
耐震改修（基礎免震工法）	8.1億円
改装等	36.0億円
コンクリートの劣化防止／電気空調設備の改修	18.9億円
舞台の装置、音響、照明等のリニューアル	12.6億円
楽屋や練習室等の増築	4.5億円
合計	44.1億円

- 現市民会館の課題がすべて解決しない。
- 建て替え事業では東街区で89億円、現在地では69億円。
- 現市民会館跡地に第一庁舎を建て替える基本構想の考え方を踏まえ
- 50年、100年のスパンで費用対効果を考えると…

 **建て替えを支持**

3. 基本構想＝榎堂B－1地区再開発事業の変質

- 2月段階の基本構想＝榎堂B－1地区の再開発事業が困難な場合は現在地で建設
- 6月にイトーヨーカドーが再開発事業への参画見送りを表明
- 8月に西街区案から東街区案へ方針を変更



**ヨーカドーの不参画で当初の基本構想はご破算に
次善の策＝現在地に移行することが市民的な常識**

4. 市民の声は？

- そもそもイトーヨーカドーが再開発事業に参加できないとした時点で、権堂での計画はご破算なのではないか。
- 何故、行政はこんなに権堂に固執するのか。
- 権堂の活性化にはつながらない。現在地で建設すればよいではないか。
- ヨーカドーがいつまで続くのか、わからない。大型店のための文化施設という印象。これでは本末転倒ではないか。
- 特定の企業の救済策になってしまうのでは？
- でも、いろいろ意見を言っても、権堂で決まりなんでしょう。

噴出する疑問やあきらめの声＝市行政と市民との間に大きな隔たり

**行政は、市民との隔たりを自覚し、
市民の理解と合意が得られる市民会館建設をめざすべき**

5. 東街区案＝不確実な「まちづくりへの効果」 権堂での建設がまちの活性化の起爆剤となるのか



1 関連事業の概算事業費

2

現時点で想定される事業及び概算事業費です。規模や機能、事業費などは今後行う基本設計等で決定していきます。

(社会資本整備総合交付金を活用)

(単位:億円)

	事業名	事業概要	事業費 総額	内 訳		備考
				国費	市費	
市民会館関連	しなのき連絡デッキ	W=4.0m,L=12m	1.2	0.5	0.7	
	しなのき改修		1.0	0.4	0.6	多目的ホール、音楽室等の改修
	市民会館用駐車場	N=200台	3.6	1.4	2.2	取得の場合 (賃借の場合3,600万円/年)
	市民会館用駐輪場	N=200台	0.8	0.3	0.5	駅関連50台込
	小 計		6.6	2.6	4.0	
まちづくり関連	東西連絡デッキ	W=5.0m,L=40m, EV	6.0	2.4	3.6	屋根、グレードアップ分含む
	にぎわい交流施設	A=2000㎡	1.4	0.6	0.8	照明・内装改修 パーティション設置等
	小 計		7.4	3.0	4.4	
	計		14.0	5.6	8.4	

- ※ 事業費については、下記条件から推定概算したもので、正確には今後基本設計をしないと算出できない
- ※ 補助率は、いずれも40%とした。社会資本整備総合交付金(交通・交流拠点の一体的整備事業)の適用を見込む
- ※ デッキについては、長野駅広ウエストプラザ前のデッキ(約2.2億)を参考に、グレードアップ、EVを加算した。
- ※ 駐車場、駐輪場については、再開発事業の中で保留床取得費として算出
- ※ 賑わい交流施設については、もんぶら4Fの改修費を参考に算出
- ※ しなのきの改修については、多目的ホール、音楽室等の改修を想定

H23国の重点施策「駅を中心に都市基盤と
関連公益施設の一体的整備事業」を活用

- ヨーカドーとの連絡デッキは、イベントができる広場も…「検討する」と答弁
- 権堂地区を文化ゾーンに、東街区の南側に公園を…「検討する」と答弁

…どんどん膨らみかねない関連事業費

- イトーヨーカドーは長期にわたり営業継続するのか⇒「確証はない」と市長答弁
- グランドシネマズに年間50万人⇒権堂の活性化につながったか、検証不可
- マクドナルド権堂店の撤退⇒民間企業の経営戦略の転換は冷徹
- 権堂のまちのイメージと文化芸術拠点は調和できない（建設検討委員会）
- 東街区案での市民会館には文化芸術拠点としてのゆとりがない（建設検討委員会）

- どんどん膨らむ関連事業費⇒14億円で納まるのか
- 権堂A地区、C地区と一体でまちづくりを⇒権堂のまちづくりの構想作りが先決



権堂を活性化したいとの願いは理解できるが…



**市民会館建設によるまちづくりへの効果は不透明で不確実
125億円もかける事業で、市民の理解が得られるのか**



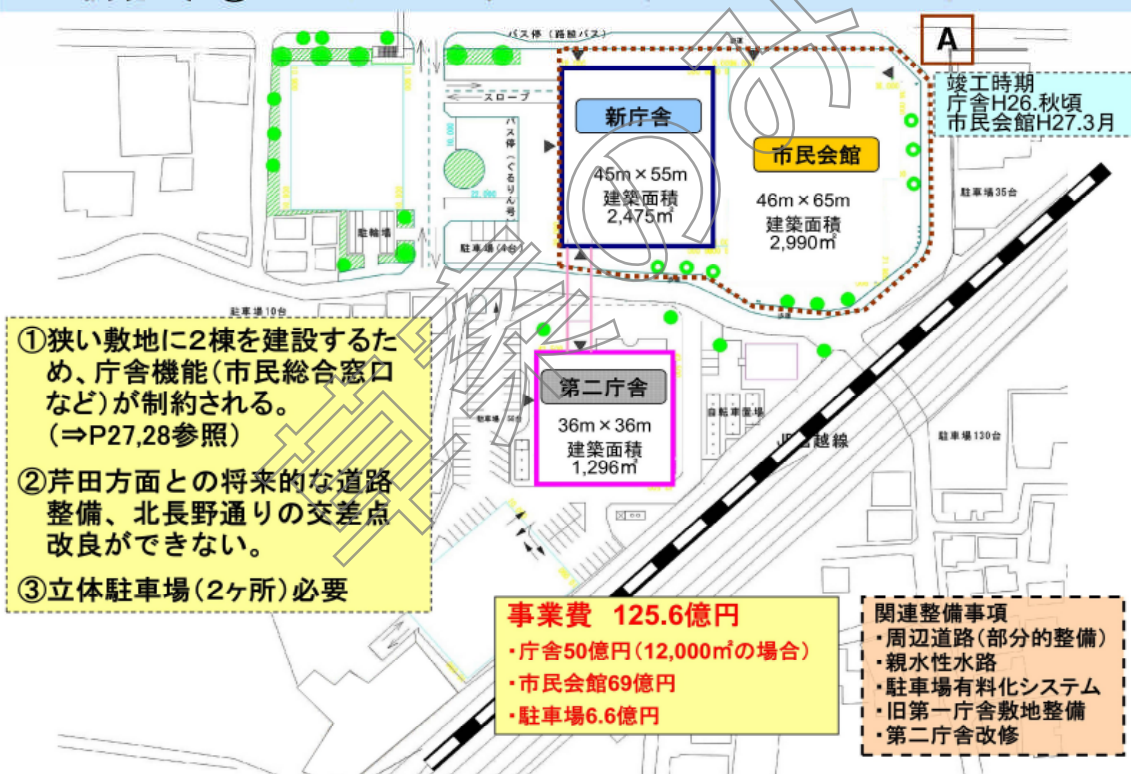
**税金の無駄使いにならない
実現性が確実な堅実な選択こそが問われる**

6-1. 現在地での建設の実現性は？…有力な3つの案(その1)

- 「まちづくりの効果が限定的」…検証された併設案や合築案など10の案
- 2つの併設案が「建設可能」、3つの合築案が「建設可能だが難あり」と判定

I 併設案①（現市民会館敷地に庁舎・市民会館を併設）

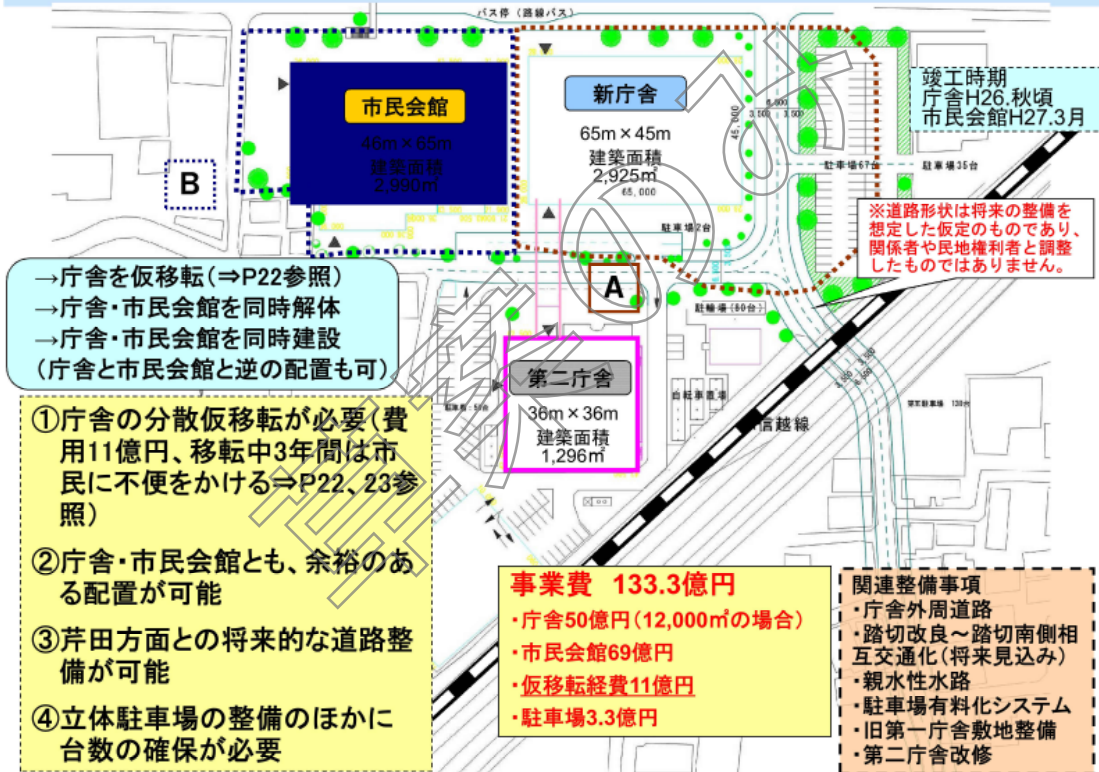
5



6-2. 現在地での建設の実現性は？…有力な3つの案(その2)

I 併設案② (庁舎・市民会館を同時解体、同時建設)

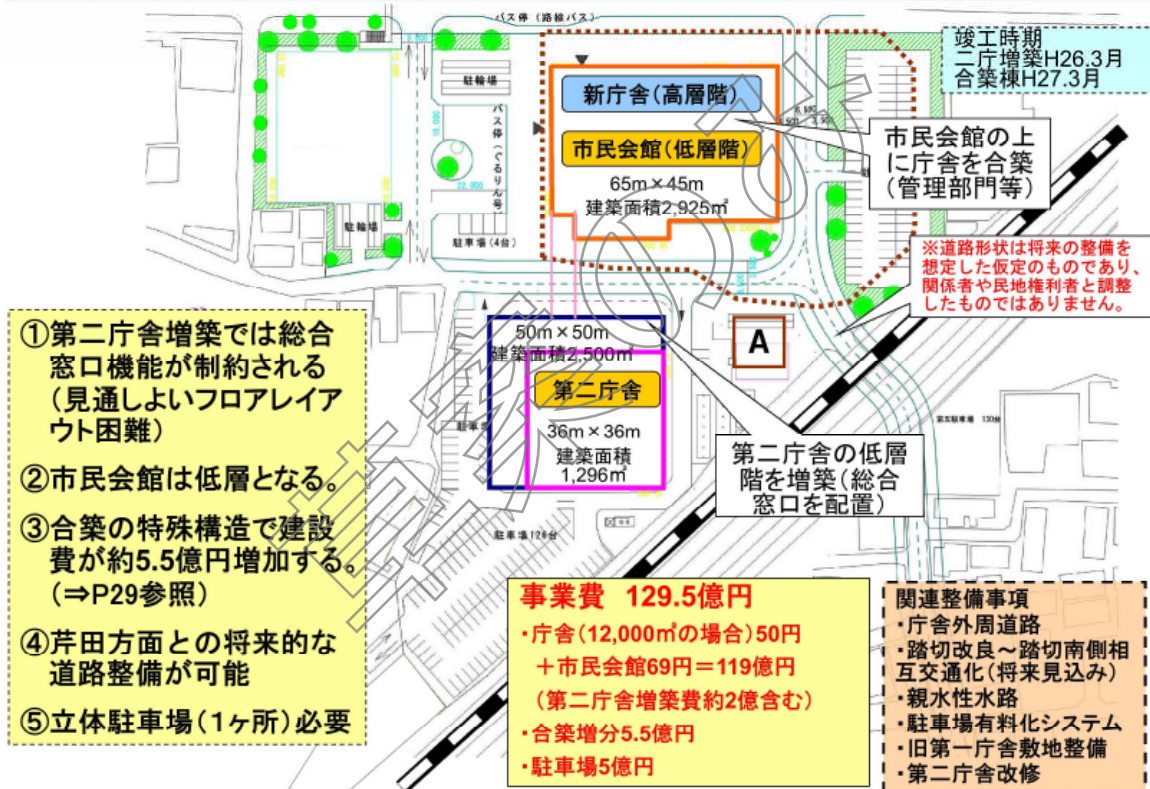
7



6-3. 現在地での建設の実現性は？…有力な3つの案(その3)

II 合築案③ (第二庁舎増築と市民会館上部に庁舎を建設)

17



- ① 第二庁舎増築では総合窓口機能が制約される(見通しよいフロアレイアウト困難)
- ② 市民会館は低層となる。
- ③ 合築の特殊構造で建設費が約5.5億円増加する。(⇒P29参照)
- ④ 芹田方面との将来的な道路整備が可能
- ⑤ 立体駐車場(1ヶ所)必要

事業費 129.5億円

- ・庁舎(12,000㎡の場合)50円
- + 市民会館69円 = 119億円
- (第二庁舎増築費約2億含む)
- ・合築増分5.5億円
- ・駐車場5億円

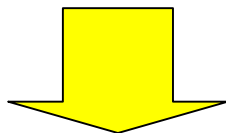
関連整備事項

- ・庁舎外周道路
- ・踏切改良～踏切南側相互交通化(将来見込み)
- ・親水性水路
- ・駐車場有料化システム
- ・旧第一庁舎敷地整備
- ・第二庁舎改修

7. 権堂案と現在地案…事業費で比較すると

	東街区案	現在地併設案 ①	現在地併設案 ②	合築案③
市民会館	87億	69億	69億	69億
第一庁舎	50億	50億	50億	50億 +5.5億 (合築分)
駐車場	200台/3.6億	751台/6.6億	599台/3.3億	788台/5.0億
仮庁舎	—	—	11億	—
総事業費	140.6億	125.6億	133.3億	129.5億
関連事業費	10.4億	—	—	—

* 関連事業費は公表された概算金額。周辺道路整備の経費は未発表。



総事業費は現在地案が一番少ない = 将来負担が一番小さい

8. 権堂か現在地か、二者択一の基準

■市民の問題意識は、「権堂が最適地」ではなく、「権堂か、それとも現在地か」の選択の問題と理解されているのではないか？少なくとも二つを対等な案として考えたい。

■二者択一の4つの基準・物差し

①文化芸術創造のステージ＝市民会館の基本理念の実現性

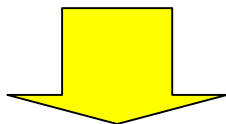
…文化芸術活動の拠点としての使いやすさ、今後、毎年必要となる維持管理費の検証

②まちづくりへの効果の确实性

③新庁舎の利便性

…総合窓口（ワンストップサービス）の開設など市民サービス向上のあり方に対する市民の理解と許容度

④総事業費、市民の将来負担の度合い

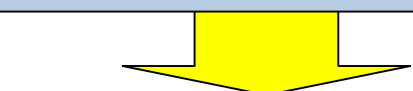


究極はまちづくりへの効果の可否、将来負担にある！

（権堂地区の活性化の确实性・実現性）

9. 市民ネットの提案

- ①東街区案は当初の再開発事業を大きく変更したものであり、基本構想段階とは全く別の計画である。
- ②「確証がない」（市長答弁）とされたイトーヨーカドーの営業継続を含め、権堂の活性化、まちづくりへの効果は、極めて不透明である。
- ③市民にとって将来負担となる事業費は、現在地の方が東街区案より18億円（市民会館分）も少なく済む。総事業費でも然り。
- ④現在地においても、新しい市民会館の理念、市民サービスの向上につながる庁舎建設が可能である。



**権堂地区の活性化と市民会館建設を切り離し、
市民会館は「現在地」で建設し、
第一庁舎と一体で素晴らしい文化芸術拠点として整備**